

2022年1月11日

各位

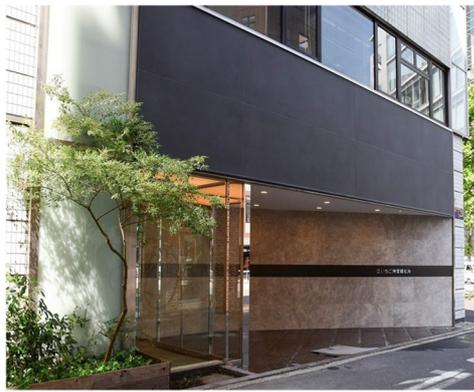
不動産投資信託証券発行者名  
東京都千代田区内幸町一丁目1番1号  
いちごオフィスリート投資法人  
代表者名 執行役員 高塚 義弘  
(コード番号 8975) [www.ichigo-office.co.jp](http://www.ichigo-office.co.jp)  
資産運用会社名  
いちご投資顧問株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 岩井 裕志  
問合せ先 執行役員オフィスリート本部長 長嶺 法雄  
(電話番号 03-3502-4891)

### 建築環境総合性能評価システム (CASBEE) 認証 最高評価 (S ランク) 取得のお知らせ

いちごオフィスリート投資法人 (以下、「本投資法人」という。) は、保有する2物件 (いちご神宮前ビル、いちご東五反田ビル) について、本日付で建築環境総合性能評価システム (Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency、以下、「CASBEE」という。) の認証を取得いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 認証取得物件および評価結果

物件名	いちご神宮前ビル	いちご東五反田ビル
所在地	東京都渋谷区神宮前六丁目25番16号	東京都品川区東五反田一丁目6番3号
延床面積	5,218.72m <sup>2</sup>	7,072.68m <sup>2</sup>
構造 / 階数	RC造 B1F/6F	SRC/RC造 B2F/9F
外観写真		
評価ランク	評価ランク : S 	評価ランク : A 

## 2. 認証において評価を受けた点

### (1) いちご神宮前ビル

- ① 温室効果ガス排出量の削減に注力している点。
- ② 本投資法人および資産運用会社が、管理会社と連携し、年度ごとに省エネ目標の設定・実績検証を実施することで、運営面においても省エネに向けた運営管理体制を構築し共同で改善を図っている点。
- ③ 水使用量についても、管理会社と連携し、共同で改善を図っている点。
- ④ 維持管理（清掃管理業務と衛生管理業務）の環境配慮において、充実した取り組みを行っている点。
- ⑤ 外来生物法を順守し、緑地の管理方針を示すことにより生物多様性の向上に努めている点。
- ⑥ 建築基準法における自然採光率をクリアし、屋外の情報を十分に得られる窓が設置されていることにより、在室者の快適性が高められている点。

### (2) いちご東五反田ビル

- ① 温室効果ガス排出量の削減に注力している点。
- ② 本投資法人および資産運用会社が、管理会社と連携し、年度ごとに省エネ目標の設定・実績検証を実施することで、運営面においても省エネに向けた運営管理体制を構築し、共同で改善を図っている点。
- ③ 水使用量についても、管理会社と連携し、共同で改善を図っている点。
- ④ 維持管理（清掃管理業務と衛生管理業務）の環境配慮において、充実した取り組みを行っている点。
- ⑤ 公共交通機関の利便性が高く、公共交通機関の利用を促進している点。
- ⑥ 建築物環境衛生管理基準を概ね満たしている点。

## 3. CASBEE の概要

CASBEE は、建築物の環境性能を評価し格付するもので、省エネルギーや省資源、リサイクル性能など環境負荷低減の側面に加え、景観への配慮なども含めた建築物の環境性能を総合的に評価するシステムです。

CASBEE 不動産の特徴は、環境に配慮された建物が不動産価値に与える影響の度合いを測定し、以下の分類でそれぞれ評価項目が点数化されます。また、評価結果は 5 段階のランキング（S、A、B+、B-、C）となっております。

[評価項目]

- ① エネルギー・温暖化ガス
- ② 水
- ③ 資源利用 / 安全
- ④ 生物多様性 / 敷地
- ⑤ 屋内環境

CASBEE 不動産評価認証物件一覧については、以下をご参照下さい。

運営サイト：[www.ibec.or.jp/CASBEE/MP\\_certification/CASBEE\\_MP\\_certified\\_buld\\_list.htm](http://www.ibec.or.jp/CASBEE/MP_certification/CASBEE_MP_certified_buld_list.htm)

#### 4. 本投資法人の今後の取り組み

本投資法人におきましては、スポンサーであるいちご株式会社が加盟した「RE100」の趣旨に鑑み、2022年4月末までに保有する全物件（※）にて消費する電力の100%を再生可能エネルギーに切り替えることを目標としております。2021年12月末時点で65物件において切り替えを完了した結果、CO2排出量を年間19,622トン減少、89.0%削減（2019年比）いたしました。

本投資法人は、引き続き保有するオフィスビルの環境・省エネ対策やエネルギー利用の効率化に取り組み、環境への配慮と環境負荷低減に向けた対応を積極的に進めてまいります。

※ 区分所有物件および共有物件等を除く、73物件

以 上